

蓼科高同窓会報

発行
蓼科高等学校
同窓会事務局
0267-56-1015



昭和 39 年 3 月卒業生記念の校名盤入り石碑をしっかりと基礎の上に移動しました。長い年月の中で、隣のポプラの木に押されて危ない状態になっていました。



会員の結束なくして 母校の存続なし

同窓会長 両角 正芳

比較的災害の少ない立科町でも、昨年は、台風 21 号・22 号の襲来によって道路や農地・農業用施設等を中心に甚大な被害が発生しました。特に、強風が吹き荒れた台風 21 号襲来時は、倒木による通行止めや収穫前のリンゴが落下する農業被害が各所で見られるなど、自然災害の恐ろしさを痛感させられました。被害に遭われた皆様に改めてお見舞い申し上げます。

さて、「魅力ある高校づくり」と「高校の規模と配置の適正化」の 2 つを柱とする第 1 期高等学校再編計画が示され、特色校の誕生や統廃合が進んでまいりました。近隣の望月高校も再編対象校として検討がされております。今後も生徒数の減少は明らかであり、小規模な地域高校の存続が益々厳しさを増すことは明白であります。幸いにも、地元行政の深い

ご理解により近隣市より通学バスが実現し、3 クラス維持が図られており、同窓会の立場からも感謝申し上げます。また、平成 30 年度から地域コースの特性をより明確にするためのコース名変更やポプラアカデミーとの連携・協同による学力向上を図る取り組みなど、学校側の新たな仕掛けによって存続可能な方策が打ち出されています。私たち同窓会も会員の結束を図りつつ学校や PTA 等と連携しながら、母校の存続発展に繋がる活動を積極的に展開して参りますので、ご理解・ご協力の程お願い申し上げます。



校長 佐藤 純也

学校では、生徒の進路実現と学力向上を図るため、ポプラアカデミーと連携・協同した学びの体系とコース名称の変更を決定し、昨年 11 月に報道発表をしました。

すいようにという目的で、平成 30 年度より地域創造コースを「環境デザインコース」に、地域貢献コースを「地域デザインコース」に変更します。生徒が地域のことを学び、地域の良さを知ること、近い将来、地域や社会に貢献できる人材になってくれるものと期待するところです。

野球部を応援していただき、その後、東京支会の総会を近くの会場で開催するという企画で、双方の活性化につながればと思います。これからの蓼科高校は、同窓会の皆さんはもちろんのこと、地域の皆さんと共に生徒を育てていくことが大切であると感じております。そうすることで生徒は地域というものをより身近に感じ、やがてはそれぞれの地元で地域を支えていく人材になってほしいと切に願うところであります。

立科町の支援を受け、蓼科高校の合宿所にあります、公営学習塾の「ポプラアカデミー」と学校の授業が連携・協同することにより、生徒の進路実現や学力向上がより図れるものと考えています。また、コース名称ですが、学

ぶ内容や特徴がより伝わりやすくなるように、毎年開催されております、蓼科高校同窓会東京支会の第五六回総会は、平成 30 年 6 月 10 日(日)に開催されます。新しい試みとして、本校の野球部が、この日に合わせて上京し、東京都立鷺宮高校のグラウンドで午前 9 時より練習試合を行います。母校の

層のご支援をお願いいたします。